

●アンケート結果のまとめ

表1:年代・性別

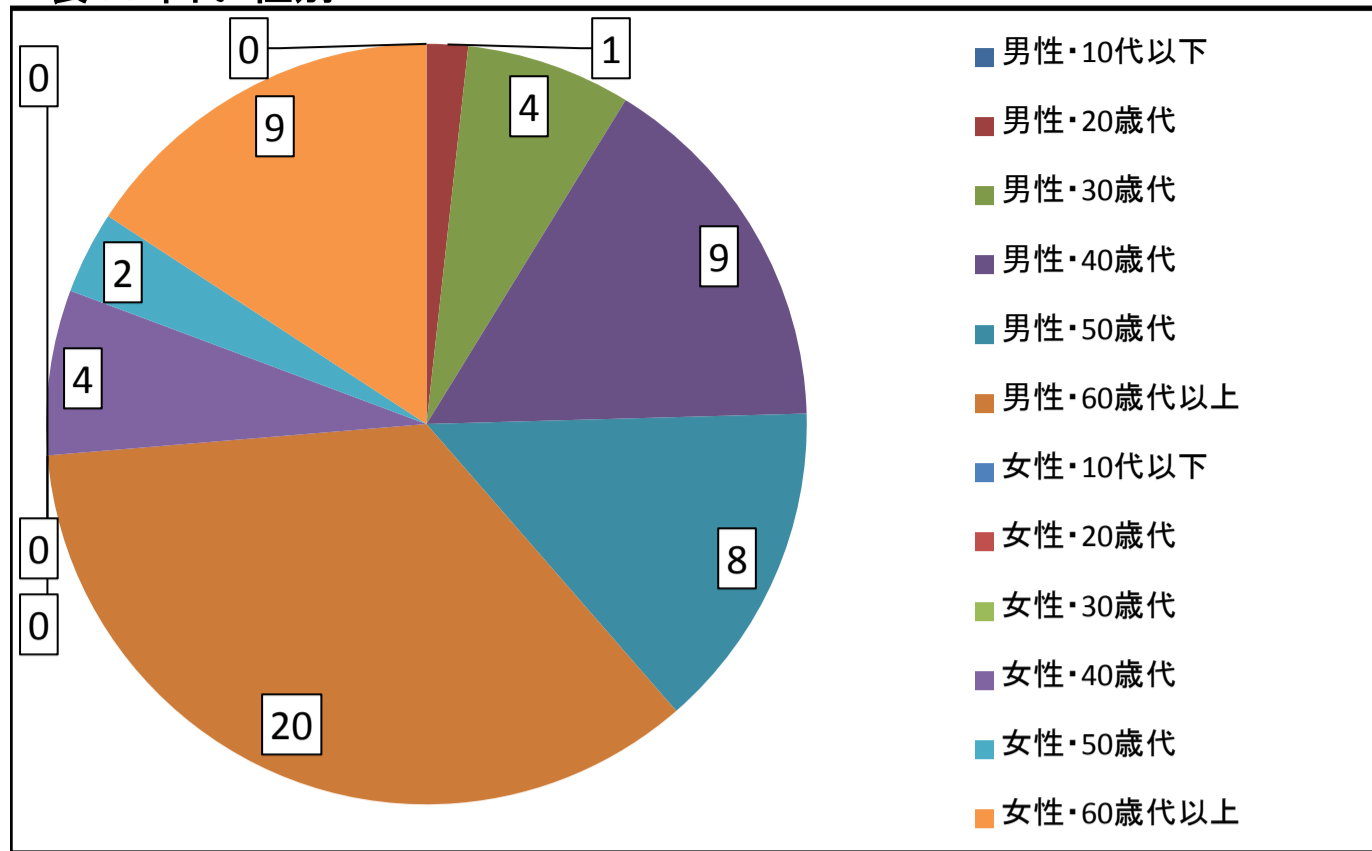


表2:住まい

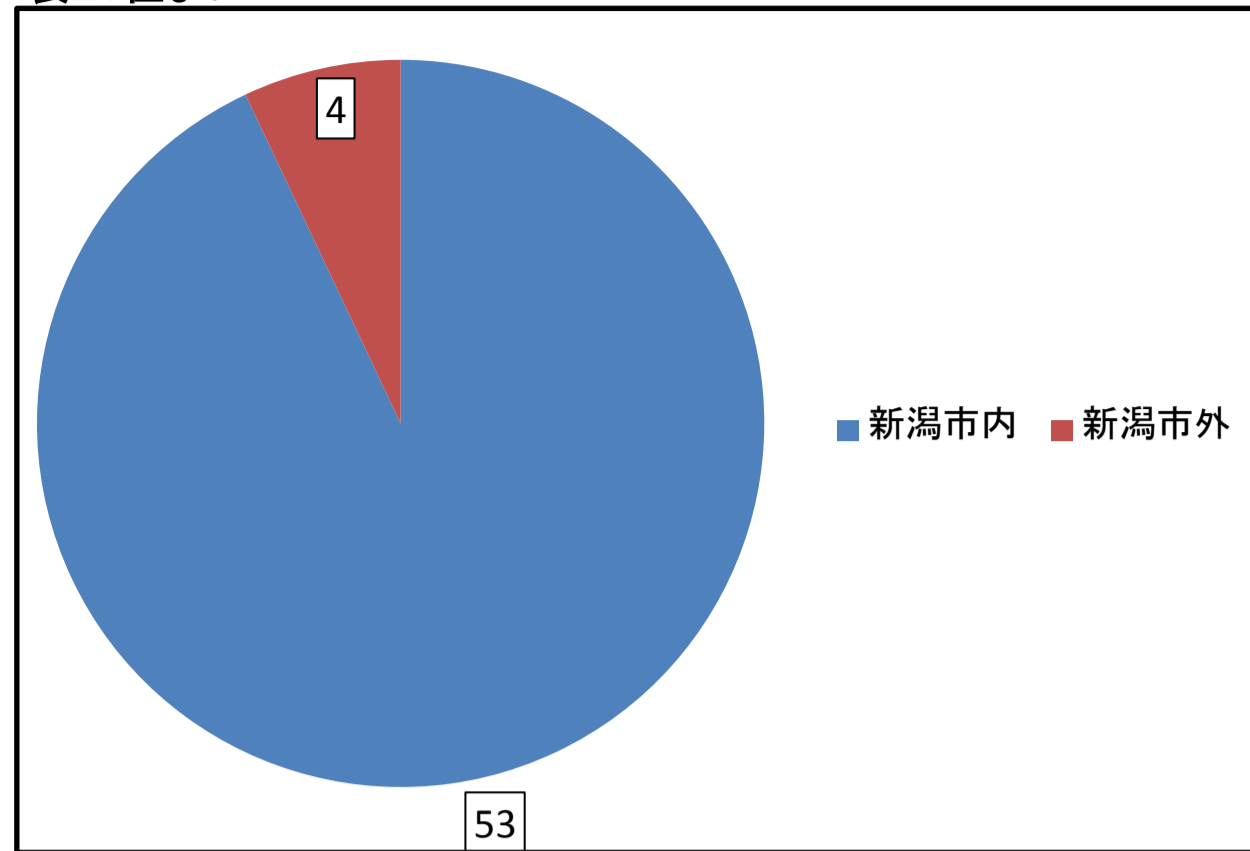


表3:フォーラム情報の入手媒体について

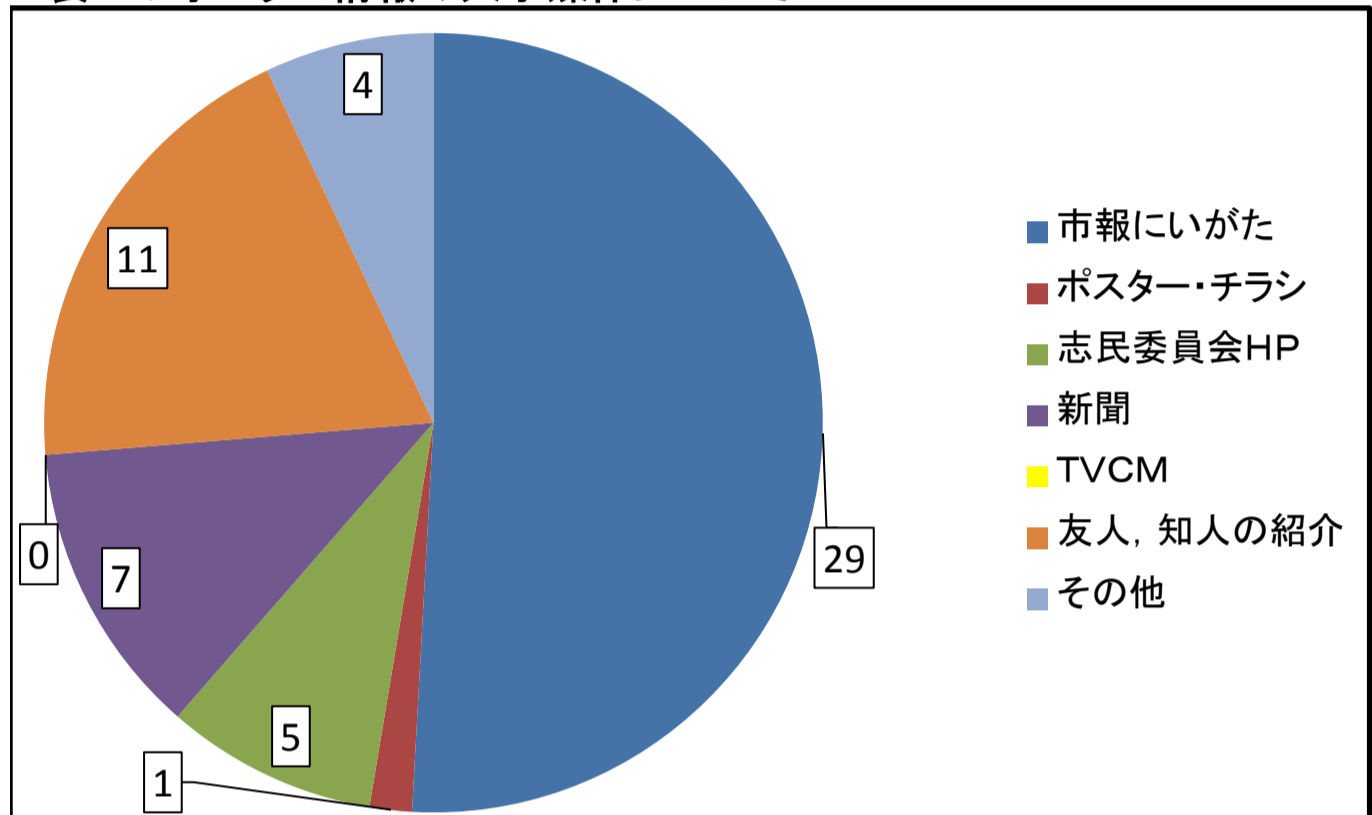
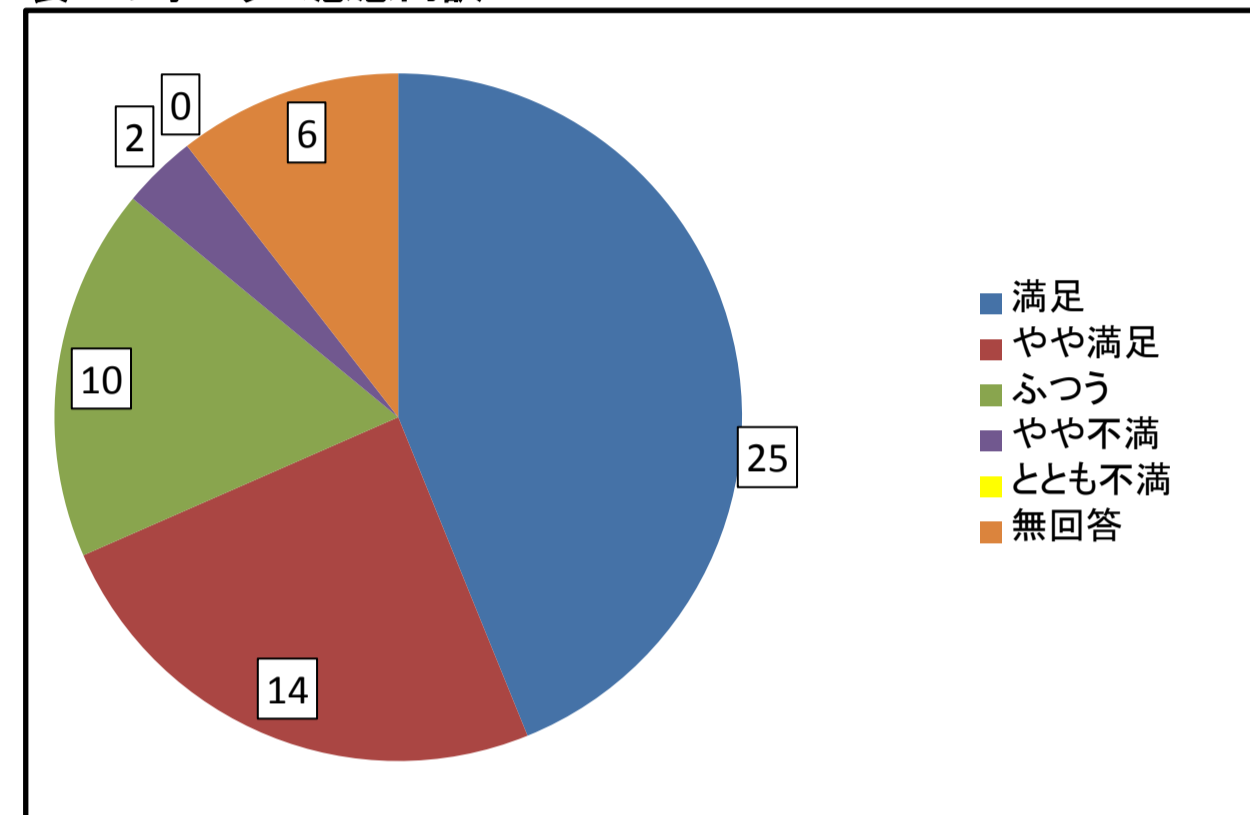


表4:フォーラム感想内訳



○フォーラムの感想

松永浩一氏の話(門司港の事例, 若者の特性を理解したやり方)が参考になった
志民委員会の考え, 目的の話がほしかった
港, 水辺, 川辺を考えるきっかけとなった
志民委員会の位置づけが不明。一時のイベント・フォーラムにとどまっている
松永さんの話をパネルディスカッションでも取り上げてほしかった
志民委員会は司会でなく意見をいう立場でもっと発信する必要がある
質問タイムがなかった
外からの目や事例を勉強することは大切みなとの日=310いいね

○新潟港に対するイメージ

開港5港の割には活気がなく物足りない
夜あぶない, 暗い, 汚い, 殺風景
西港を中心として旅客を招けるようにしてほしい
活性のない港, 地味
せっかくの魅力を無駄にしている
佐渡汽船を利用する以外に意識することは少ない。朱鷺メッセのイベントしか印象がない
大きくもなく, 小じんまりした港
どこまでが港エリアなのか?
川辺, 水辺とつながる開かれた港
港と街が一体化していない
美しく健げな湊

○港を活かした魅力あるまちづくりを進めていくために必要なこと、期待することなど

港と信濃川を生かしたクルージングなど気軽に親しめ楽しめる計画の実施
観光など難しい話ではなくデートできる港, 若者が遊びに行ける港にしたい
SNSの活用, Facebookで人を集めるなど
市民のアイデアを聞き, 実行させる仕組みを作ること。市民の理解力を高めること
信濃川は1級河川で国交省の管理, まちづくりは新潟市が主体なれば, 許認可にネックがある。よってあまり人工を加えない港が望ましい
リーダーを決めること(実行委員長)
助成金が入ることによって何をするかとか行動が制限されることが問題になるので, あまり制限のない, 自由にぎわいのできればいい
海辺・水辺とかかわりやすい施設などがあればよいのでは
市民だけでなく, もっと県や新聞, TV局等を巻き込んだ作り込みを行ってほしい
大規模な公園計画を立てるべき
今日のようなイベントを開催し, 一般市民を巻き込み, 活性化のきっかけとしてほしい
「みなとびあ」のある下町の活性化
相談窓口がわからなかった。まず志民委員会が窓口であると告知・広報してほしい
身近で, 街と一体で関わりたくなる様なまちづくりを
官に頼らないイベント作りが大事利益が出る仕組み作りが大切
子どもたちに港にふれる, 港のことを教える場(機会)の提供
市民が市外の人を案内したくなる港に
フィッシャーマンズワーフ等, 水辺を楽しむ空間作りをしてもらいたい
新潟発展のスタートの地
国際的に魅力のある観光地, 人の集まる場所になってほしい
市民が市外の人を案内したくなる港に
市民参加レベルの記念イベントとその後の継続と活用策を考える
新潟市と佐渡市のつながりを強化

○新潟港開港150周年に向けたご意見, 考えについて

150周年はもちろんながら200周年を見据えた港づくり
五港の中で最も見劣りがする
色々なイベントを総合的にまとめるコーディネーターの力が必要
郷土史のPR強化
港としての機能は今以上の発展は望めないとすれば”何”を目的とするか「めあす」になるものがほしい
150周年の1年前から, 街中のあちこちに”シンボルマーク”があるとわかりやすいのでは
みんなが参加しやすいイベントを企画してほしい
若い人たちの港意識を広め, 特に子どもの教育を広めてもらいたい(体験)
150周年という歴史ストーリー, 時間軸のイベント
再開発計画を具体化してほしい
市民の誇りにつながるものに
Sea級グルメの誘致
定期的な企画・にぎわいが大切
市民への発信が不足している情報編集をはじめ, 情報発信を戦略的に行い, より多くの市民の関心を高めていく
まちのにぎわいで古町, 駅前, 駅南などエリアが協働で動けたらいいと思う
再発進する年特に歴史と地理的な条件
港の日, 港のオリジナルカクテル, フードetc
水都にいがたとして生まれ変わってほしい
イベントは必要であるが, 通年観光型で交流人口の増加策を考えることが大事である
規制緩和